

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年10月25日(月) 9:30~12:00
- 3 開催場所 飛驒特別支援学校高山日赤分校プレイルーム
- 4 参加者

会長	原田 康司	飛驒特別支援学校本校PTA会長
副会長	白田 美樹	飛驒特別支援学校高山日赤分校PTA会長
委員	塩谷 雅	はなさと町づくり協議会会長
	桑原 宏之	新宮町づくり協議会(会計)
	坂下美千代	山ゆり学園園長
	西永 由典	前高山市社会福祉協議会会長
	石原 隆博	高山市福祉部福祉課課長
	柏木 真司	ウエルコミュニティ飛驒理事長
	大坪希美枝	環境ネット(株) サービス管理責任者
	嶋田喜美子	高山市民防災研究会副会長 防災士(欠席)
学校側	竹田万里子	校長
	渡辺 敏昭	事務部長
	清水 栄枝	高山日赤分校副校長兼高等部主事
	長瀬さゆり	教頭
	折敷地浩平	小学部主事
	長瀬美千代	中学部主事
	渡辺 圭子	高等部主事
	道下亜紀子	高山日赤分校小中学部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 今年度の取組説明及び学校評価アンケートについて

ア 学校教育周知について

意見1: 情報を発信する対象は、学校の関係者など情報を必要としている方に絞るとよい。

意見2: ホームページはどの学校も同じようなデザインが多い。生徒も参加して定期的にデザインを変えていくなど、興味をひくようなホームページにするとよい。

意見3: ホームページを充実させるとともに、紙ベースでも回覧すると、より確実に人の目に留まると思う。

意見4: コロナ禍のため難しい面もあるが、実際に会うなどして交流を深めていくことが大切である。

イ 防災教育について

- 意見1：地域も学校と一緒に防災に取り組めるよう協力をしていきたい。
- 意見2：分校の現在の避難の方法では、教員が何往復もしなければならない。車いすの児童生徒が多いため、万が一のときに本当に避難できるのかを考え、一つ一つできることを検討するとよい。
- 意見3：自家発電機は定期的な燃料の交換が必要である。また、いざというときにどの職員も使えるようにしておく必要がある。
- 意見4：避難設備が古く、見直しが必要である。時間や経費はかかるかもしれないが、改善を図るとよい。
- 意見5：男性職員が少ないため、安全に避難することを考えると、人員配置について設備とともに要望していく必要がある。

ウ 進路教育について

- 意見1：卒業後の進路選択が難しい現実がある。生徒や保護者が望む進路先や環境を整えなければならないと感じた。
- 意見2：成人後、親亡き後が心配である。地域として支えていく仕組み作りが必要である。
- 意見3：コロナ禍により企業や事業所での働き方が変わった。これまでとは違い、現在は現場実習を受け入れることができても、就職は難しいケースが多い。進路指導の在り方を検討する必要がある。
- 意見4：在学中に事業所と保護者との接点が少ない。在学中から学校、事業所、保護者との情報共有を密にしていきたい。

(2) 県立学校体育施設開放について

- ・分校には体育施設がない。本校のグラウンドや体育館には、トイレや照明設備、防球ネット、駐車場等の設備が十分でない。また、体育館単独の構造になっておらず、校舎内への出入りができるため、鍵の管理や防犯上の問題点もある。
 - ⇒ 体育施設の開放は行わない。コロナ感染症の感染防止の点からも開放するべきではない。

(3) 作業製品価格審査

- ・高等部作業学習の製品価格について、適正な価格であると承認された。

6 会議のまとめ

- ・学校や児童生徒の様子を実際に参観することで、学校への理解を図ることができた。
- ・学校が課題としている課題3点について、得られた意見から具体的な方策を学校で検討し、今後の取組を進める。